

# 令和4年度 第2回 会津図書館協議会 議事録

日 時：令和5年3月20日（月）13：30～15：00

場 所：生涯学習総合センター 研修室2・3

出席者：委 員 9名出席

事務局 6名出席（会津図書館長、主幹1名、副主幹1名、主任主査3名）

## 1 あいさつ

会津図書館長

会津図書館協議会委員長

## 2 議 事（委員長を議長とし、進行）

### (1) 令和4年度事業実施状況（下半期）について

※事務局より報告

<質疑応答等>

議 長：事務局の説明に対し、ご意見・ご質問等ありましたらお願いしたい。

委 員：全国コンクールは、8万作品から2作品受賞されたそうだが、受賞数は何点あるのか、教えてほしい。

事務局：直接的ではないが、本市の場合、全69作品で2作品推薦できるので、受賞した2点の積み上げということである。

委 員：質問が複数あり、まず、「本の夜会」で、朗読など決まった方が行うのか。紹介した本のタイトルや参加者の年齢層はどうなのか。広報は市内書店とあるが、広範囲だったのか。

事務局：募集の際に、朗読か本の紹介かの希望の確認をする。本のタイトルは「銀河鉄道の夜」などあった。参加者は20代から60代までいた。当日リストは参加者に配付したり、貸出も行った。市内書店は西沢書店と岩瀬書店にポスター掲示をお願いした。

委 員：「会津ビブリオバトル」では、前年と同じ中学校が2校出場しているが、いつも決まっているのか。「図書館を使った調べる学習コンクール」の令和3年度から新設された国際ソロプチミスト会津会長賞のソロプチミストの意味は何か。作品との関連はあるのか。

事務局：団体名ということではないが、団体の活動としては女性と女児の生活と地位向上させるための奉仕活動を行っている。一定のテーマに基づいた受賞とは決まっていない。

委 員：「おはなし会」は昨年はなかったのか、また、どのような内容か。参加人数は一緒だが、同じ人か。

事務局：昨年も開催している。内容について、冬は群読、朗読、エプロンシアター、ブラックパネルシアターを含めた読み聞かせ。春は群読、朗読、パネルシアターを含めた読み聞かせである。参加者は違う家族である。

委 員：「デジタルアーカイブ」のことで、今は幕末の会津の歴史のここのようだが、これから紹介するもの、どんなテーマで公開していくのか。これからの予定を教えてください。

事務局：古文書は「会津千代松袖鑑」、「会津漫画」、掛軸は「安政年間若松城下絵図」など、各古文書、地図の公開を予定している。要望の高いもの、資料の利用価値が高いものをデータ化していく。

委 員：「会津ビブリオバトル」で高校生1名をバトラーに入れなかった理由はなぜか。

事務局：発表のレベルが違い、プレゼンテーション能力にも差がある。

委員：「おはなし会」の広報を会津支援学校にも行っているが、参加者がいないのでどのような広報にしているのか。手話がある等、書き添えているのか。

事務局：手話通訳の準備はない。コロナの時期だったため、キャンセルになったこともあったが、障がい児の通所施設から問い合わせはあった。延期になったので取り消しになった。聴覚支援だとハードルが高いが、障がい児通所施設では申し込みがあったりする。手話通訳の件について、今後、おはなしのへやさんとも相談したい。

委員：「デジタルアーカイブ事業」で、テレビでの事業の紹介を見たが、テレビ放映したことによりアクセス数の増加はあったのか。

事務局：アクセス数は急に伸びたかといわれるとまだわからない。毎月閲覧数の統計をとっており、平均13,000~14,000件の閲覧がある。「テレビを見た」という利用者がいるので、それなりの効果はあったと考えている。

委員：全国のコンクールで奨励賞を受賞した（会津図書館を使った調べる学習コンクール市長賞）受賞者の母親から連絡があり、社会福祉協議会事務所で震災のインタビューした子が奨励賞を取っていてすごいと思う。図書館に30日まで作品展示しているということなので、後で拝見したい。こういう話題、身近な方が受賞するとか、身近なものになってほしい。前にも話したが、図書館のチラシとかイベント等をご案内いただければ、管轄の老人福祉センターに配置して紹介できる。本に興味がある高齢者はたくさんいるので、案内できる。

議長：ありがとうございます。ぜひ、これはお願いしたい。

委員：「よみきかせの手話通訳のこと」で、名古屋市の図書館では、「手話のおはなし会」をやっている。普通の手話通訳とは違うみたいで、手話通訳の方でもできる人とできない人がいる。すごくいいアイデアだと思う。予算とか手話通訳の予算をしっかりと確保して、もしできるのであれば、事業としてやってみてほしい。障がいのある子や大人の読書、マルチメディアデイズー図書を広報していただき、障がい者だけでなく健常者にも知っていただいて、口コミで知らせることがまず大事だと思っている。読み上げしてくれたり、今ここを読んでも色が変わったりするような「よいデジタル図書」は、なかなかないようだ。やっぱり読むのが苦手の子の助けになり、いろんな本に触れていきたいというきっかけにもなる。また、子育て応援コーナーはとても良いが、利用者数が増えて、貸出数が減っているということで、貸出数を増やしたいのであれば、工夫してみてもどうか。アイデアとして、「赤ちゃんおはなし会」の後に親子タイム、子ども連れの方が図書館を利用するのに遠慮なく見てくださいということや、ファミリーサポートみたいな人が赤ちゃんを見ていてくれる（1時間程）間に親は自分の本を探せる、こういうのもある。ベビーファースト宣言されたのなら、今回の予算では市民の要望もこのようなこともやってみることもいいのではないか。

事務局：「手話のおはなし会」は、ボランティアか、有償でお願いするかこちらで検討させていただく。マルチメディアデイズーは、点数が少ない。コーナーを設置したことをホームページで広報していく。効果は高いので数を増やして広報していきたい。

「赤ちゃんおはなし会」でのファミリーサポートの件も予算が関係してくる。赤ちゃんの絵本の買替の予算計上もしたが、思ったように進まないの、時間をいただきたい。

委員：「みんなで翻刻プロジェクト」は読みたいものを図書館に持ち込んで翻刻支援してもらえるサービスなのか。

事務局：参加条件は画像データがIIIF（トリプルアイエフ）になっていること、今のところ、図書館でアーカイブにしたもののみ。今、民間で古文書解説アプリがでる予定で、情報を集めて、自分で読みたい古文書がある人に案内できればと考えている。

## (2)令和5年度当初予算(案)について

## (3)令和5年度事業実施計画(案)について

※事務局より報告

### <質疑応答等>

議長：ご意見・ご質問があればお願いしたい。

委員：「会津図書館を使った調べるコンクール」で、うちの小学校は学区外なので子ども達だけでは会津図書館に行けない。保護者が連れていける子以外は行けないので、公民館、移動図書館、学校図書館を含めてもらえるといいと思う。本校には移動図書館も来ない。学校賞があるのも不公平だと思う。

事務局：移動図書館の本も利用できるとチラシにも明記してある。全国コンクールの応募規定があるので、そこは変更できない。学校支援図書セットや特別貸出の本でも大丈夫である。

議長：委員の意見はもっともであり、広報もわかりやすく地域差が生まれないようにしてほしい。

事務局：学校のほうに特別貸出としてある程度まとめて貸出できるので、利用されていれば「調べる学習コンクール」は大丈夫なので、広報の中にしっかりと分かるようにしたい。

議長：しっかりわかるような広報をお願いする。他にいかがか。

委員：予算案の令和5年度はデジタルアーカイブ導入前の予算に戻ったのか。

事務局：アーカイブ導入の令和3年度当初予算は1千8百万円(図書館振興財団からの助成)があったので増えていた。令和4年度は、コロナ対策で計上していたソファ地張替分180万円(国助成金)があったのが、令和5年度はない。令和5年度は特殊要素はなく図書購入費は横ばいである。10年以上経つと生涯学習センター管理費は修繕など優先分配で予算がついており、なかなか増やすのは難しい。

委員：事業計画で、8割くらい児童から中高生向けのようだが、図書館の役割として生涯学習の役割もあると思う。大人向けの学習講座は、生涯学習の一環として外国語の講座とかやらないのか、検討はあるのか。

事務局：英会話となると中央公民館の役割になると思うが、今は設けていない。

委員：市内には在住外国人が多いように思うのでお話しした。

事務局：中央公民館管轄の生涯学習となるため、伝えておく。

議長：事業計画の中身では図書館での成人の講座はもっとないかというご意見でもあると思う。検討してほしい。

委員：「会津図書館を使った調べる学習コンクール」の審査員をやらせていただき、69作品すべて発想・探求・すばらしい作品だった。「図書館を使った調べる学習体験講座」の人数を増やす予定はないか。小学校低学年・中学年で学んでいると、高学年で素晴らしい作品になって役に立っているようだ。

事務局：今年度の募集では低学年は定員より少し多かったが、中学年は定員に満たなかった。また、コロナで人数を制限せざるを得なかったので、今年度は増員を検討する。

## (4)第三次会津若松市子ども読書活動推進計画 令和4年度実施報告

※事務局より報告

### <質疑応答等>

議長：ご意見・ご質問があればお願いしたい。

- 委員：学校図書の整備充実という点で、学校図書館支援員の配置をありがとうございます。  
また、学校図書で標準達成されていない中学校が3校あり、驚いた。中学校こそ、図書冊数の増冊をし、ぜひ、中学生に本を読んでもらいたい。図書購入費は年額どの程度、小中学校に配分されているのか。
- 事務局：学校教育課の所管で行っているため、詳しくはわからない。標準達成していない学校には予算を上乗せしているようだ。なるべく早く達成していけるように実施していく。
- 委員：達成するだけでなく、蔵書の構成の内容を考えてほしい。学校図書館支援員の研修の機会はあるのか。なければ、これから設ける予定があるのか。
- 事務局：学校図書館支援員の研修は新任者には「学校図書館ボランティア養成講座」に参加いただいている。また、月1回図書館奉仕員と学校図書館支援員が集まって、相談などを受けている。除籍の作業等、要望などがあれば学校へ伺っている。
- 委員：公共図書館から無料で呼べる講師もいる。一人で学校司書をやっている大変なので、横のつながりもたくさん作ってあげることも大切である。

以上